

一 般 質 問 通 告 書

【 6 月 2 0 日 (月) 】

1. 9番議員 中 村 一 堯 (市長)

1. 市長選挙を通じて受け止めた市民の声と鹿島市の課題について
2. 選挙での主な公約とその実現に向けて
3. 松尾市政で市役所がどう変化していくのか
 - (1) 市民目線での対応
 - (2) 国や県、近隣自治体との連携
 - (3) 男女共同参画社会
4. 新たな取り組みと今後の計画について

2. 13番議員 福 井 正 (市長・担当部長・担当課長)

1. 鹿島市の人口増加施策の取り組みについて
 - (1) 人口増加に成功するための施策について
 - ① 鹿島市に移住したくなる施策について
 - ② 移住者と鹿島市民が親しくなれる施策について
 - ③ 移住希望者に対して鹿島市の職場紹介と起業希望者への補助について
 - ④ 移住者への住環境整備について
 - ⑤ 移住希望者への助成制度について
 - (2) 鹿島に居住しておられる外国人について
 - ① 鹿島市に居住しておられる外国籍の方の人数について
 - ② 外国籍の方の職業について
 - ③ 外国籍の方の居住年数について
 - (3) 鹿島市の出生数増加策について
 - ① 出産祝い金の取り組みについて
 - ② 出産費用補助金について
 - ③ 給付型奨学金の取り組みについて

3. 6番議員 杉原元博（市長・教育長・担当部長・理事・担当課長）

1. 地方創生臨時交付金の活用について

- （1）原油価格・物価高騰対応についての考えは
- （2）生活者支援の事例について
 - ① 学校給食費以外（保育所・幼稚園などの給食費、介護施設などの食事提供）の負担軽減について
 - ② 子育て世帯、生活困窮世帯の生活支援について
- （3）事業者支援について
 - ① 地域公共交通の経営支援について
 - ② 水道料金をはじめ公共料金補助について
- （4）その他経済政策について（プレミアム商品券など）

2. 若者の声を反映させる政策について

- （1）若者の投票率の推移（18歳選挙権以降）18～20代・30代
- （2）学校内での児童・生徒が参加する取り組みについて
- （3）ヤングケアラーへの支援について
- （4）企業説明会の反響と参加者の意見集約について
- （5）若者の政治参画について（各審議会に若者枠の導入等）

【 6月21日（火）】

4. 14番議員 松尾征子（市長・教育長・理事・担当課長）

1. インボイス導入について

- （1）小規模事業者の営業と暮らしを脅かし、同時に市内経済の衰退にもつながる。導入は中止するよう国に求めるべきだと思うが、市長のお考えをお尋ねします。

2. 政府の核兵器禁止条約参加について

- （1）参加を政府へ働きかけてもらいたいと思うが、市長の考えをお聞かせください。

3. 物価高の中で高齢者の暮らしは直撃されている。高齢者の暮らしを守る取り組みを

4. 学校トイレ個室への生理用品の設置について

5. 危険地域の早急な調査と改善を

5. 5番議員 池田 廣 志 (市長・副市長・教育長・担当部長・担当課長)

1. 自然が豊かで、災害にも強く、住みたいまちづくりについて

(1) 自然環境を守るための取り組みについて

① 河川へ珪藻の異常発生と可動堰の管理方法

(2) 減災対策と災害から市民を守る取り組みについて

① 老朽化が進む市内排水機場の更新計画は

② ため池とダム水位の雨期前対策とアメダス基地誘致の協議

(3) 住みたいと思って頂くための取り組みを

① 路線バス等の路線・運行時間を見直し、利便性の向上を

② ホームページを使った企業誘致の推進と雇用の確保

③ 国道207号バイパス沿道の開発で、雇用と地域産業を育成

④ 観光客を酒蔵や浜宿に誘導し、まちの振興につなげる

⑤ 高規格道路2路線の早期着工を働きかける

⑥ 少子化対策としての遊具を市の中心地に整備して欲しい

⑦ 市民が安心して暮らせるように、市職員は周囲への心配りを

6. 12番議員 徳村 博 紀 (市長・教育長・担当部長・担当課長)

1. 新市長に問う

(1) 新幹線開業と同時にJR長崎駅までの特急がなくなるがその代替策は

(2) 国道207号バイパス沿線開発について大型店舗の誘致等の考えは

(3) 放課後児童クラブの時間調整とは

(4) 高校生の医療費助成拡大の内容は

(5) 今回の肉付け予算のどこに松尾市長のカラーが出ているのか?

2. これからのICT化に向けて

(1) 庁舎内のICT化に向けて

(2) 小学校低学年のリモート授業の状況について

3. 子供たちの安全安心の取り組みについて

(1) 最近、不審者情報がマチコミに流れてくるが場所が分からない。見守り隊も対応していかなければならないと思うが、場所を教えることはできないのか?

【 6 月 2 2 日（水）】

7. 4 番議員 中 村 日 出 代 （担当部長・担当課長）

1. 鹿島市耐震改修促進計画について
 - （1）鹿島市内の活断層について
 - （2）地震による被害想定結果について
 - （3）県が実施した鹿島市庁舎耐震診断結果について
 - （4）耐震改修の予定について
2. 鹿島駅周辺整備計画について
 - （1）佐賀県が整備する施設について
 - （2）基本計画の事業調整結果について
 - （3）都市計画法の変更について
3. 駅前広場基本計画（案）について
 - （1）西側駐輪場、賑わい拠点施設等の用地買収面積と財源について
 - （2）路線の認定について
 - ① （都）鹿島駅・城内線（3. 4. 4）について
4. ガン患者アピアランスケア事業について
 - （1）事業の内容について
 - （2）ガン患者支援団体について

8. 3 番議員 笠 継 健 吾 （市長・担当部長・担当課長）

1. 地域活性化の取り組みについて
 - （1）鹿島市の人口推移（全体と 1 8 ～ 2 5 歳）
 - （2）若者の流出防止策はどうか
 - （3）企業等の誘致の取り組みはどうか
 - （4）県立大学はどうなっているか
 - （5）国道 2 0 7 号バイパス沿いの状況
2. 国道 4 4 4 号、鹿島・大村間の活性化について
 - （1）中木庭ダム周辺の公園等更なる整備について
 - （2）公共団体とか第三セクターとかでレストラン運営はできないか
3. 市内循環バスについて
 - （1）市内循環バスの利用状況はどうか
 - （2）乗り場は市内中心部であるが、市内全体を考えてできないか

9. 7番議員 樋口 作 二 (教育長・担当課長)

1. 子どもの成長と鹿島市のスポーツ環境

(1) SAGA2024・国民スポーツ大会の意義

(2) 中学生クラブの現状

① 教育課程における位置づけ

② 部活数の変遷と部員数

③ 指導者の外部委託について

(3) 小学生社会体育の現状

① クラブ数の変遷とクラブ員数

② 指導者の実態と教職員のかかわりについて

③ チャンピオンスポーツ化とクラブチーム化について

④ 小学生スポーツへの共通理念は誰がつくるのか

(4) スポーツ少年団と体育行政

① 鹿島市スポーツ少年団の現状

② 鹿島市は、小学生スポーツクラブにどうかかわるのか

【 6月23日 (木)】

10. 8番議員 中村 和 典 (市長・副市長・教育長・担当部長・理事・
担当課長)

1. 市長選挙の結果について

(1) 結果をどう受け止めているのか、また、心境の変化は

2. 市政運営の考え方及び抱負について

(1) 交通アクセス網の早期整備について

① 1期4年間で、どのくらいの進捗を考えているのか

(2) 高校生までの医療費助成拡大について

① 対象者数及び事業費は、どれくらいの規模か

(3) 学校給食費について

① 保護者負担無償化についての考えはないのか

(4) 災害に強いまちづくりについて

① 過年度の災害復旧事業が、まだ2割以上完了していないが、その理由及び今後の見通しは

(5) 新市民会館建設事業費の行方について

① 物価高騰の影響下で事業費は大丈夫か、また、民俗資料展示コーナ

一のレイアウトはできているのか

(6) 市長と語る会について

① 地区に出向く前に、職員と十分な協議が必要ではないか

11. 2番議員 宮崎 幸宏 (市長・担当部長・担当課長)

1. 有明海沿岸道路に関する事

(1) 有明海沿岸道路の事業進捗状況について

(2) 有明海沿岸道路の整備に関する取り組みについて

(3) 有明海沿岸道路の早期実現について

2. 九州新幹線西九州ルートに伴うJR在来線(長崎本線等)に関する事

(1) 長崎本線(肥前山口～諫早)の利便性低下の補完について

(2) 長崎本線(新鳥栖～肥前山口)と佐世保線(肥前山口～武雄温泉)の
並行JR在来線の問題について

3. 水災害に対する防災・減災対策に関する事

(1) 水災害に対する備え(自助、共助、公助)について

(2) 水災害に対するリスク管理(事前対応)について

12. 15番議員 松田 義太 (市長・副市長・担当部長・理事・担当課長)

1. 鹿島市の直面する課題について

(1) 西九州新幹線開業に向けた市の取り組みについて

① 長崎本線の現状・課題について

② 有明海沿岸道路等(高速交通体系・福富鹿島間)の現状について

③ 9月23日(西九州新幹線開業)までの取り組みについて(要望活動等)

(2) 有明海再生に向けた取り組みについて

① 国・県の支援策について

② 各関係機関との連携について

③ 市独自の支援策について